

CMOS野郎2

説明

CMOS野郎2は、シュミットトリガインバータ(TC7W14FU)を使った発振器と、スピーカーを組み合わせた、電池で動くシンプルな楽器です。ステレオラインアウトもあります。

初代CMOS野郎(初代CMOS野郎 <https://github.com/kinoshita-lab/cmos-guy>)を基板化&小型化したものです。

基本的な使い方

- 電池を入れると動きます。**向きに気をつけてください。** 使わない時は電池をはずしてください。
- あまり奥まで電池を入れると、抜くのが大変なので途中くらいにしておくといいです。
- ツマミを回すと、ピッチが変わります。

応用的な使い方

- 回路がむき出しになっているので、あちこち触ってみると面白いです。
 - ツマミの裏辺りを触ると微妙にピッチが変わります。上手くやるとビブラートもできます。
 - スピーカーの穴を指でふさいだりすると、微妙にフィルターがかかります。
- 複数使うと、うなり(beat)が作れて面白いかもしれません。
- ミキサーに差すと、とりあえずPAつながってる？とかわかって便利かもしれません。

交換が必要な部品

電池は **CR2032** を使って下さい。

回路

